

とっとり県美応援団 事務局だより

2021. 11. 18号



(旧)日野上小学校
校庭の大イチョウ

「秋のパワーアップ研修会」を開催!!

県美の新組織 構築など助言
米子市美術館後援会 福島会長が倉吉で講演
2025年春に倉吉市に

オープンする鳥取県立美術館をサポートする県民の組織「とっとり県美応援団」(佐伯健二団長)は、倉吉市上井町十目の日本海新聞中部本ホールで、地域

美術文化を楽しめる組織づくりに関して話す福島後援会長

の機運を高め、個人の力量をアップさせようと講演会を開いた。米子市美術館後援会の福島多暉夫会長は県立美術館について「県外の方も期待している。地方区ではなく全国区であると認識して、新組織を構築すべきだ」と強調した。

福島会長は「米子市は美術館が出来る前は劣悪な状況での展示をしていて、市民が切望して美術館を造った責任がある」と前置きし、米子市との関わりや後援会の取り組みについて紹介した。

県立美術館は「全国に発信して鑑賞者を集める必要がある」と述べ、倉吉博物館とのすみ分けについても検討の必要性を説いた。また「文化施設は人々を惹きつける、豊かな人生を送るためのもの。楽しみながら取り組んでほしい」とアドバイスし「県立美術館の発展を期待している」とエールを送った。(加嶋祥代)

「新日本海新聞」掲載記事より



米子市美術館での研修

《10月30日「講演会」》

講師に福島多暉夫氏(米子市美術館後援会会長)をお迎えして「美術文化を楽しむ組織に」と題した講演をお聞きしました。

40人程の参加者があり、会員以外の方も多く来場して下さいました。県立美術館に対する関心が広がっているのを感じました。

米子市美術館と後援会関係についての講話をお聞きし、県立美術館への期待や課題などについて考えるきっかけを頂きました。

講演会終了後には、「地域に根差した部分を持ちながら、継続的に全国区の県立美術館という意識を持った運営を願う。」「周辺環境の整備も含め、県外からも人が呼べるよう関係機関が連携していきたい。」などという感想が多く寄せられました。

* 「講演会」の情報は下記のサイトでも!! (県立美術館整備局より)

鳥取県立美術館ウェブサイト 2021.11.5

【活動紹介】とっとり県美応援団 秋のパワーアップ研修会に参加してきました(21.10.30)

<https://tottori-moa.jp/blog/partner-activities/1509/>



日南町美術館での研修

《11月7日「現地研修会」》

天候に恵まれた立冬の日に、米子市と日南町での研修を参加者24人で行いました。車中では美術が大好きな添乗員さんの解説を、3つの研修先では丁寧な説明や解説を聞くことが出来、一人一人が研修を深め、多くの学びと感動を持ち帰ることができました。

米子市美術館では、中村館長よりコロナ禍でのボランティア活動の工夫や具体例をお聞きする事が出来、日南町美術館では美術館の特色をお聞きした後で、学芸員さんが休日返上で展示して下った作品の説明を聞いて鑑賞し、その圧倒的な行動力や企画力に感動。

上淀白鳳の丘展示館では、解説を聞く事の大切さを実感しながら多くの出土品や修復された仏像・壁画などを興味深く見学しました。



上淀白鳳の丘展示館での研修